



創造力を問う

「英語・プログラミング入試」と読書の魅力を伝える

「ビブリオバトル入試」

授業も入試も国際派の人材育成を目標に

湘南の緑深い丘陵に建つ聖和学院。1987年に、いち早く高等学校に英語科を設置。翌年からニュージブラント語学研修をスタートさせるなど、時代に先駆け、国際舞台で活躍する女性の育成を目指してきました。卒業生は全員が英検2級、うち25%が準1級取得という高い実績を誇ります。

21世紀のグローバル・リーダーに必要な資質は創造力と表現力。そして皆で新しいものを生み出すコラボレーションスキルとコミュニケーション力です。聖和学院では、その育成のため2年前から「英語で学ぶプログラミング教育」を柱に据えました。使用教材はソニー・グローバルエデュケーションのKOOV®。ブロックでロボットを作り、iPad

幼少期から始めるプログラミング学習



聖和学院の幼稚園では、2017年からSTEAM教育の一環としてプログラミング教室をスタートし、現在では園児一人一台のiPadを使った授業を行っています。英語でのプログラミング教育では、2020年よりソニー・グローバルエデュケーションが企画開発したKOOV®聖和学院オリジナルカリキュラムを採用。



聖和学院幼稚園 (逗子)

神奈川県逗子市久木2-2-1 TEL.046-871-2670

聖和学院第二幼稚園 (藤沢)

神奈川県藤沢市辻堂6-18-11 TEL.0466-36-0406

adでプログラミングを設定して作動させます。

担当のアンダーソン先生は「ものづくりの楽しさを知り、最後までやり抜く力を養うことが目標」と語ります。毎週1回の授業はオンライングリッシュ。生徒の好奇心を刺激しながら、質問には簡単な単語に言い換えたり、ジェスチャーを交えたりと、英語の話す・聞く力を同時に養います。生徒同士が助け合い、創意工夫をこらすチーム力も向上しました。

聖和学院では2020年度か



ら「英語プログラミング入試」も実施しています。アンダーソン先生は「プログラミングには、作る人の数だけ正解がある。課題を見つけ、試行錯誤するプロセスの中に、受験生の潜在能力と、可能性を見出すことができます」と、その活用に積極的です。

聖和学院中学校・高等学校

〒249-0001 神奈川県逗子市久木2-2-1
Tel.046-871-2670 Fax.046-873-5500
<https://www.seiwagakuin.ed.jp/>

学校訪問で興味を抱いた児童を対象に、事前講習会を実施するので初めてでも本番は安心。授業同様、数人のグループでプログラミングに臨み、先生に質問したり、互いに相談しながら動くロボット作りにチャレンジしたりします。英会話もごく平易で意思の疎通に心配はありません。

聖和学院でもう一つ注目されるのは「ビブリオバトル入試」です。あらかじめ自分の好きな本を読んでおき、その要約を5分間で発表。2分間グループディスカッションを行います。

ビブリオバトルは本来「読書の甲子園」と呼ばれるイベント。大会では「その本、読みたい！」と最も支持を得た参加者が優勝します。聖和学院は関東代表に選ばれるほど活動がさかん。

国語科の栢本（かやもと）さゆり先生は「入試では、拙くても自分の言葉で感動を伝えられれば合格点。受験生同士、本の話で楽しく盛り上がっています」と説明。

入試はその他「プレゼンテーション入試」と「英語」「2科」「4科」の全6種類。聖和学院は一人ひとりの「得意」を引き出し、温かく育てていきます。

Topics

自分に最適な入試スタイルが選べる！

① 英語プログラミング入試

45分の解説の後、貸与されるブロック、電子パーツ、iPadを使って、指定のロボットを作り作動させる。1時間。結果より作る意欲やコミュニケーション力を評価。2月1日午前、3日午後、6日午後、11日午後。

② ビブリオバトル入試

事前に準備した本の要約を受験生同士5分で発表。ディスカッションを2分。その後、当日を振り返る作文を40分で執筆。2月1日午前、6日午後、11日午後。

③ プレゼンテーション入試

事前に自己紹介のエントリーシートを提出。当日は面接官の前で15分間自己PR。楽器演奏やダンスの披露も可。その後作文執筆。2月2日午前、6日午後、11日午後。

④ 英語

英語のヒヤリングとスピーキングのテストと、日本語の作文執筆。2月1日午前と午後、2日午後、4日午後。

⑤ 2科

国語・算数。2月1日午前、午後、2日午前、午後、3日午後、4日午後、6日午後。

⑥ 4科

国語・算数・理科・社会。2月1日午前、2日午前、4日午後。